

平成21年度 やまがた農商工連携ファンド 助成金交付決定事業一覧

1 農商工連携事業（助成率2/3、限度額300万円/1事業計画、事業期間3年以内）

区分	申請事業者 (連携体代表者)	所在地	連携体構成員 (代表者以外)	事業計画名	事業 期間	事業概要
海外展開等 支援	(株)イーストクリエイション	白鷹町	農事組合法人サン ファームしらたか	春節向け「サクラサク桜R」輸出事業	3年	山形県特産の啓翁桜を、「春節」のプレゼント商品として台湾、香港、上海に輸出する事を目的に各種調査を行い、「サクラサク=万事如意」を中国文化圏の新しい流行(はやりごと)に作りあげたいと考えている。
	(有)山形工房	長井市	西置賜ふるさと森林組 合、佐藤製材所	山形県・長井市発の「競技用けん玉」を 世界へ	1年	競技用けん玉生産「日本一」で知られる山形県長井市の競技用けん玉を海外展開するもの。海外における市場発展性・伝統文化発信の重要性を考慮し、海外版の競技用けん玉「天空」(100%手作り)を地域産業と連携し、開発・展開する。
ニューツー リズム展開 支援	(株)ながせ	天童市	花輪農園	ぶどう作りサポーター	3年	ワインの原料になるぶどう園での農作業を、一般消費者が体験する。人手不足の繁忙期(年3回)の新戦力「サポーター」は、フルーツを楽しむコミュニティにも参加して、学びと交流ができる。フルーツで誰もが笑顔になるプロジェクトとして実施する。
	松山観光バス(株)	酒田市	高梨清樹、遠田隆、 工藤豊雄(全て農業 者)	貸切観光バスと農業者の共同による 農産品モニタリング調査と着地型旅行 商品企画の新ビジネスモデル開発	3年	「庄内の食」をテーマに、旅行者を対象として観光バスの車内にて地元の農家による農産品のPRを行い、生産者から消費者へ農産品を直接販売する機会を創出し、これを継続的に実施するビジネスモデルの構築を図る。
	山新観光(株)	山形市	山形まるごと市 (山寺部会)	地産地消推奨～山寺名物料理「宝珠 膳」の活用と地域おこし～	1年	戦後、山寺立石寺より門前町に受け継がれてきた郷土料理「宝珠膳」を、地元農産物を使用する形で、山寺の新たな文化として再生し、山寺地区の町おこしと、山寺が持つ様々な文化的価値や行事と結びつけ、着地型観光の推進を図る。
新商品 新 サービス開 発等支援	大富農産(有)	東根市	山米商事(株)	高品質本わさび栽培法の確立及びそ の葉を応用した新飼料の開発	2年	健康に貢献する高ポリフェノール含有わさび(葉)の栽培法を確立し、差別化を目指す。また、本わさび葉を使って養鶏の産卵率低下(ワクモやトリサシダニ寄生)を改善し、本わさび葉を使った新しい養鶏飼料(添加物)を販売する。
	つるおか綴れ 虚籟庵	鶴岡市	阿曾一良(農業者)、松 岡(株)、農家民宿知恵軒	つるおか綴れ錦織による新商品開発 ～つるおか絹物語～	3年	養蚕から製糸、製織、染色の全工程が揃う鶴岡シルクの可能性を最大限に活かし、綴れ錦織による新商品開発と平成22年春に発表会を開催する(於:丙申堂)。将来的に、鶴岡の絹織物を見て、触れて、体験できる滞在型ツーリズムに結び付けていく。
	羽黒のうきょう食品加工 (有)	鶴岡市	庄内たがわ農業協同 組合	地場孟宗筍、加工品開発事業	3年	地元農産物の掘り起こしと生産者の所得向上を目指し、庄内地方に休眠している竹林から孟宗筍を全量買取し、加工・販売する事で地元生産者の所得向上と自給率アップを目指すために、新たな商品開発の取組みを行う。
	(有)マッシュグループ	鮭川村	(有)尾花沢食品	キノコを使った新商品開発	1年	食品製造・加工分野との連携を推進し、最上地域の特産品であるキノコを加工原料として、通年生産・加工を目指した、新しい加工食品の開発を行う。キノコの年間を通じた安定生産・供給体制を確立し、地域農業の活性化に寄与する。
	和洋酒うめかわ	庄内町	はらべこファーム、 楯の川酒造(株)	リキュール開発事業	1年	100%庄内町産のラズベリーを使用し、酒飯店が中心となり、若手後継者で力を合わせ、希少な国産ラズベリー「リキュール」を開発する。

2 農商工連携支援事業（助成率10/10、限度額：200万円、事業期間1年以内）

申請事業者	所在地	事業 期間	事業概要
やまがた食産業クラスター協議会	山形市	1年	食品産業(食)と農業者(農)との連携グループが開発した県産農産物を活用した商品を県外に広く売り込むため、FOODEX JAPANへの出展支援を行うことを核として、商品改良・展示のアドバイスをを行うなど、販路拡大に向けた様々な支援を実施する。
鮭川村商工会	鮭川村	1年	当村は菌茸を中心とした農産物の生産が盛んであり、その農産物にいかにつ加価値をつけて地産メニューとして温泉旅館等で提供することができるか、また自然環境に配慮した農産物の生産を行うにはどのような方策があるかを専門家派遣を行い模索する。
山形県グリーン・ツーリズム推進協議会	山形市	1年	県内地域のグリーン・ツーリズム推進組織に対し、グリーン・ツーリズム素材を組み合わせた着地型旅行商品作りに向けた、研修会や情報発信等の支援事業を展開する。